

平成24年度以降の松本市博物館協議会の議事概要一覧

- 1 平成24年度第1回(平成24年10月26日) ※初回のため3部構成(3部は企画展見学)
 - (1) 博物館協議会の制度と概要について
 - (2) 博物館事業について
 - (3) 松本まるごと博物館の抱える諸課題について
- 2 平成24年度第2回(平成24年12月12日)
松本市立博物館本館及び分館の視察研修
- 3 平成25年度第1回(平成25年5月23日)
 - (1) 平成25年度博物館協議会の事業計画について
 - (2) 平成24年度博物館事業及び平成25年度事業計画について
「松本市基幹博物館の整備について」資料提出あり
- 4 平成25年度第2回(平成25年7月25日)
山梨県立博物館視察研修
- 5 平成25年度第3回(平成26年3月14日)
 - (1) 平成26年度当初予算の概要について
 - (2) 平成25年度博物館事業報告及び平成26年度事業計画について
 - (3) **基幹博物館整備事業について**
- 6 平成26年度第1回(平成26年8月6日)
 - (1) **基幹博物館整備事業の現況について**
 - (2) 博物館の管理運営及び事業への意見・要望等について
- 7 平成26年度第2回(平成26年10月21日) ※委員改選のため2部構成
 - (1) 博物館協議会の制度と概要について
 - (2) 松本まるごと博物館の概要について
 - (3) 平成27年度予算編成に係る博物館事業について
- 8 平成27年度第1回(平成27年12月10日)
基幹博物館整備事業について
- 9 平成27年度第2回(平成28年3月16日)
 - (1) 平成28年度博物館事業計画について
 - (2) その他(**基幹博物館整備事業の進捗状況について**)

松本市博物館協議会における基幹博物館整備に係る主なご意見

平成25年度第1回

委員名	発言要旨
笹本会長	(協議会には展示の専門家がないこともあり) 基幹博物館の展示委員会等の専門の部会を立ち上げること。
笹本会長	俗にいう博物館的な、古いもの入れ込むようなイメージではなく… (旭山動物園の例を引き) 意表を突く展示の仕方
青木委員	二度三度と、もう1回行ってみたいという基幹博物館にするために。
忠地委員	合併地区の展示を2つ3つはしてほしい。こういう暮らしをしていたと知ってほしい。

平成25年度第3回

委員名	発言要旨
笹本会長	(今の場所から離れると人は減ってしまうので) 展示会にどれだけ人を集められるかを、博物館の生死を決定するくらいの危機感をもって考えること。 一方で人を集めるためと称して短期間にこれだけ事業をやると、今の人員体制では力がもたない。
笹本会長	子どものためだけでなく、高齢者のためというのも必要。
丸山委員	学習支援に力を入れ、「博物館に行ったら学習支援につなげてくれる」とか、ソフトの面で支援してくれる博物館のあり方の追及を。
塩原委員	市民学芸員の方の発表を、大きい発表の場だけでなく、日常的に勉強の成果を発表できる機会があればよい。

平成27年度第1回 (松本市基幹博物館整備方針(案)協議)

委員名	発言要旨
笹本会長ほか	収蔵庫を(1,200㎡から)もっと増やしてほしい。 ただし、収蔵庫の中がどういう状態が良いのかを考えていく必要がある。(何でもかんでも収納するという考えではなく。)
太田委員	子どもたちが集まって学習できるフリースペースを。
横澤委員ほか	協議会としては8,000~10,000㎡にしてほしい。
横澤委員ほか	情報ネットワーク化(ハブミュージアム)、インターネット社会への対応
笹本会長ほか	(建築について)使いやすさを前提にしてほしい。極端に言えば、四角い箱が良い。デザイン重視でなく機能重視にする。
笹本会長	展示委員会等の委員会の立ち上げの際には、学芸員が必ず入るようにすること。
笹本会長	(発掘の成果の結果、お城の重要なものが出た場合)それが見られるような構造にしてほしい。
笹本会長	(施設構想等の冊子について)人が手に取って見てみようと思わせる冊子にすること。